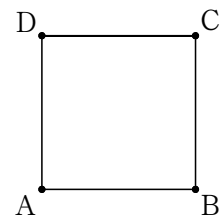


## ◀2013年 神戸大学(前期)▶

## ♠ 理系学部

- 1** 空間において, 2点  $A(0, 1, 0)$ ,  $B(-1, 0, 0)$  を通る直線を  $\ell$  とする. 次の問いに答えよ.
- (1) 点  $P$  を  $\ell$  上に, 点  $Q$  を  $z$  軸上にとる.  $\overrightarrow{PQ}$  がベクトル  $(3, 1, -1)$  と平行になるときの  $P$  と  $Q$  の座標をそれぞれ求めよ.
- (2) 点  $R$  を  $\ell$  上に, 点  $S$  を  $z$  軸上にとる.  $\overrightarrow{RS}$  が  $\overrightarrow{AB}$  およびベクトル  $(0, 0, 1)$  の両方に垂直になるときの  $R$  と  $S$  の座標をそれぞれ求めよ.
- (3)  $R, S$  を (2) で求めた点とする. 点  $T$  を  $\ell$  上に, 点  $U$  を  $z$  軸上にとる. また,  $\vec{v} = (a, b, c)$  は零ベクトルではなく,  $\overrightarrow{RS}$  に垂直ではないとする.  $\overrightarrow{TU}$  が  $\vec{v}$  と平行になるときの  $T$  と  $U$  の座標をそれぞれ求めよ.
- 2**  $p, r$  を  $-r < p < r$  をみたす実数とする. 4点  $P(p, p^2)$ ,  $Q(r, p^2)$ ,  $R(r, r^2)$ ,  $S(p, r^2)$  に対し, 線分  $PR$  の長さは 1 であるとする. このとき, 長方形  $PQRS$  の面積の最大値と, そのときの  $P, R$  の  $x$  座標をそれぞれ求めよ.
- 3**  $c$  を  $0 < c < 1$  をみたす実数とする.  $f(x)$  を 2次以下の多項式とし, 曲線  $y = f(x)$  が 3点  $(0, 0)$ ,  $(c, c^3 - 2c)$ ,  $(1, -1)$  を通るとする. 次の問いに答えよ.
- (1)  $f(x)$  を求めよ.
- (2) 曲線  $y = f(x)$  と曲線  $y = x^3 - 2x$  で囲まれた部分の面積  $S$  を  $c$  を用いて表せ.
- (3) (2) で求めた  $S$  を最小にするような  $c$  の値を求めよ.
- 4**  $a, b$  を実数とする. 次の問いに答えよ.
- (1)  $f(x) = a \cos x + b$  が,
- $$\int_0^\pi f(x) dx = \frac{\pi}{4} + \int_0^\pi \{f(x)\}^3 dx$$
- をみたすとする. このとき,  $a, b$  がみたす関係式を求めよ.
- (2) (1) で求めた関係式をみたす正の数  $b$  が存在するための  $a$  の条件を求めよ.
- 5** 動点  $P$  が, 図のような正方形  $ABCD$  の頂点  $A$  から出発し, さいころをふるごとに, 次の規則により正方形のある頂点から他の頂点に移動する.
- 出た目の数が 2 以下なら辺  $AB$  と平行な方向に移動する.
- 出た目の数が 3 以上なら辺  $AD$  と平行な方向に移動する.
- $n$  を自然数とするとき, さいころを  $2n$  回ふった後に動点  $P$  が  $A$  にいる確率を  $a_n$ ,  $C$  にいる確率を  $c_n$  とする. 次の問いに答えよ.
- (1)  $a_1$  を求めよ.
- (2) さいころを  $2n$  回ふった後, 動点  $P$  は  $A$  または  $C$  にいることを証明せよ.
- (3)  $a_n, c_n$  を  $n$  を用いてそれぞれ表せ.
- (4)  $\lim_{n \rightarrow \infty} a_n, \lim_{n \rightarrow \infty} c_n$  をそれぞれ求めよ.



## ♠ 文系学部

**1** 理系学部の **1** と同じ.

**2**  $a, b, c$  は実数とし,  $a < b$  とする. 平面上の相異なる 3 点  $A(a, a^2), B(b, b^2), C(c, c^2)$  が, 辺  $AB$  を斜辺とする直角三角形を作っているとする. 次の問いに答えよ.

(1)  $a$  を  $b, c$  を用いて表せ.

(2)  $b - a \geq 2$  が成り立つことを示せ.

(3) 斜辺  $AB$  の長さの最小値と, そのときの  $A, B, C$  の座標をそれぞれ求めよ.

**3** 赤色, 緑色, 青色のさいころが各 2 個ずつ, 計 6 個ある. これらを同時にふるとき,

赤色の 2 個のさいころの出た目の数  $r_1, r_2$  に対し  $R = |r_1 - r_2|$

緑色の 2 個のさいころの出た目の数  $g_1, g_2$  に対し  $G = |g_1 - g_2|$

青色の 2 個のさいころの出た目の数  $b_1, b_2$  に対し  $B = |b_1 - b_2|$

とする. 次の問いに答えよ.

(1)  $R$  がとりうる値と,  $R$  がそれらの各値をとる確率をそれぞれ求めよ.

(2)  $R \geq 4, G \geq 4, B \geq 4$  が同時に成り立つ確率を求めよ.

(3)  $RGB \geq 80$  となる確率を求めよ.

## 出題範囲と難易度

## ♣ 理系学部

- 1** 基本  B ベクトル (空間)
- 2** 標準  II 図形と方程式
- 3** 標準  III 積分法の応用
- 4** 標準  III 積分法
- 5** 標準  A 確率・ III 数列の極限

## ♣ 文系学部

- 1** 基本  B ベクトル (空間)
- 2** 標準  II 不等式の証明・図形と方程式
- 3** 標準  A 確率

## 略解

## ◇ 理系学部

- 1** (1)  $P\left(-\frac{3}{2}, -\frac{1}{2}, 0\right), Q\left(0, 0, -\frac{1}{2}\right)$   
 (2)  $R\left(-\frac{1}{2}, \frac{1}{2}, 0\right), S(0, 0, 0)$   
 (3)  $T\left(-\frac{a}{a-b}, -\frac{b}{a-b}, 0\right), U\left(0, 0, \frac{c}{a-b}\right)$
- 2** 最大値:  $\frac{1}{2}$ , (P の  $x$  座標)  $= \frac{2-\sqrt{2}}{4}$ , (R の  $x$  座標)  $= \frac{2+\sqrt{2}}{4}$
- 3** (1)  $f(x) = (c+1)x^2 - (c+2)x$   
 (2)  $S = -\frac{1}{6}c^4 + \frac{1}{3}c^3 - \frac{1}{6}c + \frac{1}{12}$   
 (3)  $c = \frac{1}{2}$
- 4** (1)  $4b^3 + 2(3a^2 - 2)b + 1 = 0$   
 (2)  $-\frac{\sqrt{6}}{6} \leq a \leq \frac{\sqrt{6}}{6}$
- 5** (1)  $a_1 = \frac{5}{9}$   
 (2) 証明は省略  
 (3)  $a_n = \frac{1}{2} \left\{ 1 + \left(\frac{1}{9}\right)^n \right\}, c_n = \frac{1}{2} \left\{ 1 - \left(\frac{1}{9}\right)^n \right\}$   
 (4)  $\lim_{n \rightarrow \infty} a_n = \frac{1}{2}, \lim_{n \rightarrow \infty} c_n = \frac{1}{2}$

## ◇ 文系学部

- 1** 理系学部 **1** と同じ.
- 2** (1)  $a = -c - \frac{1}{b+c}$  ( $a = -\frac{c^2+bc+1}{b+c}$  でも可)  
 (2) 証明は省略  
 (3) 最小値: 2,  $A(-1, 1), B(1, 1), C(0, 0)$
- 3** (1)
- |     |               |                |               |               |               |                |
|-----|---------------|----------------|---------------|---------------|---------------|----------------|
| $R$ | 0             | 1              | 2             | 3             | 4             | 5              |
| 確率  | $\frac{1}{6}$ | $\frac{5}{18}$ | $\frac{2}{9}$ | $\frac{1}{6}$ | $\frac{1}{9}$ | $\frac{1}{18}$ |
- (2)  $\frac{1}{216}$   
 (3)  $\frac{19}{5832}$